



年末年始を安全に過ごしましょう！  
 ..... p1～3

子どものおもちゃは、安全面に気をつけて！  
 ..... p4



編集・発行 板橋区消費者センター

# 年末年始を **安全** に過ごしましょう！

年末年始には、大掃除中の事故や食品による窒息、帰省先での子どものやけどなど、この時期に特有の事故が発生することがあります。  
 このような事故を防止して、年末年始を安全・快適に過ごしましょう！



## 大掃除中の事故

### 【事例1】

- 窓拭きをしているとき、バランスを崩し脚立から転落した。
- キャスター付きの椅子に乗り、換気扇を掃除中に転落した。

### ポイント

高所で作業をする場合は、安定した椅子・踏み台を使いましょう。脚立等は安定した場所で使用し、天板に乗らない等の使用上の注意事項を必ず確認しましょう。また、無理な体勢での作業はやめましょう。



### 【事例2】

- 扉を閉め切ったまま浴室の掃除をしたら、カビ取り剤で苦しくなった。
- ブラシを勢いよくかけたら、洗剤がはねて目に入った。

### ポイント

洗浄剤の使用時には、安全上の注意書きを確認し、「必ず換気を行って使用する」、「手袋や眼鏡等で皮膚を保護する」、「他の容器に移し替えはしない」などの注意事項は必ず守りましょう。



## 食品による窒息事故

### 【事例3】

- 自宅にて雑煮を食べていたら餅を喉に詰まらせた。到着した救急隊員が餅を除去し、救急蘇生をしながら医療機関へ搬送された。
- きなこ餅を一口で食べたら喉に詰まらせ、家族が背中をたたいて取り出した。



### ポイント

餅は、食べやすい大きさにした上で、急いで飲み込まず、口の中でよくかんで食べましょう。また、口に入っている分が飲み込めてから、次の餅や他の食べ物を口に入れましょう。朝起きてすぐは、口の動きもスムーズではありません。食事前に会話をするなど、口の準備運動をしたり、スープ等の滑らかなもので喉を潤したりしてから食べましょう。

### 【事例4】

- みかんを急いで口に入れたところ、喉に詰まらせた。
- 寝る前にあめをなめていて、そのまま布団で横になったときに喉に詰まらせた。

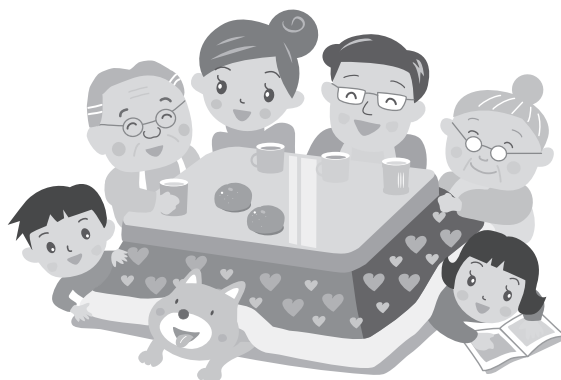


### ポイント

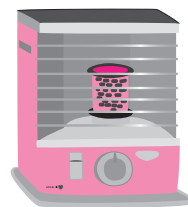
食事中は、歩き回らない。寝転ばない。  
高齢者や介護を要する方は、粥などの流動食に近い食べ物でも窒息を起こすことがあります。食事の様子に注意を払い、見守りましょう。

## 《事故が起きてしまったら》

窒息事故が起きた場合、窒息した人には喉に手を当てて呼吸ができなくなったことを示す動作(チョークサイン)がみられます。餅を食べているときにこうした動きがみられたり、急に顔色が悪くなったりしているときは、窒息が疑われます。こうした場合には、救急へ通報(119番)を行い、速やかに応急手当を行ってください。



## 帰省先での子どものやけど事故



### 【事例5】

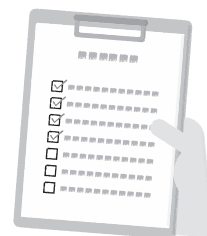
- 実家のリビングで石油ストーブの天板の熱い部分に手をついた。泣いていたのですぐに見ると、手が赤くなっており、やけどを負った。

#### ポイント

帰省先等で使用しているストーブ等の種類や、位置、高さ等をよく確認し、危険性を認識しておくとともに、子どもが近づいたり、触ったりしないように注意しましょう。

## 事故防止のために家庭内を点検しましょう！

年末年始の大掃除は、長く使用している製品や設備、普段はなかなか確認できない製品や設備を点検する良い機会です。また、帰省時には、実家で高齢者が使用している製品をご家族で確認する良い機会です。今後の事故を防止するために点検してみましょう。



### ① リコール対象製品がないか確認してみましょう。

リコール対象になっているにもかかわらず、気付かずに使用している製品や、普段は使わずに収納されている場合があります。リコール対象製品であることに気付かずに使用すると大きな事故につながるおそれがあります。

### ② 経年劣化などによる不具合などがないか確認してみましょう。

製品の設計や構造に問題がなくても、長期使用に伴って部品や材料に劣化が生じ、事故が起きることがあります（経年劣化）。また、ご家庭に設置されている住宅用火災警報器に故障や電池切れなどがあると、いざというときに作動せず危険です。家電製品等に過度な発熱、異常な音や振動、異臭、正常に作動しない等、不具合や故障の兆候がないかを確認してみましょう。

### ③ 転倒しやすい家具等がないか確認し、転倒防止対策を行いましょう。

衣類や本などを収納するタンス、棚などの家具やテレビは、子どもがよじ登った際に転倒すると下敷きになるなど、事故となるおそれがあります。転倒しやすい家具等がないか確認し、転倒防止グッズなどを利用して壁や台に固定しておきましょう。

# 子どものおもちゃは、安全面に気をつけて！

クリスマス、お正月は、お子さんが新しいおもちゃに触れる機会が多くなる時期です。楽しいおもちゃも、選び方や、使い方によっては悲しい事故につながる場合があります。

子どもたちが安全で楽しく遊ぶために以下の点に注意しましょう。

## 選ぶときは

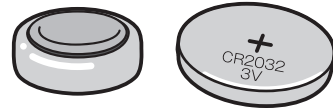
STマーク付きの玩具は「安全面について注意深く作られたおもちゃ」として業界が推奨するもので、対象年齢が記載されています。

対象年齢が低い玩具は、喉に詰まらない大きさ、部品が外れにくい、尖った部分がない等、安全性をより配慮した設計になっています。選ぶ際の目安にしましょう。



## 誤飲に注意

おもちゃ等に使用されるもので特に注意が必要なのは、ボタン電池と磁石(マグネット)です。ボタン電池は、飲み込むと、短時間でも胃や食道に穴が開いてしまうなど重篤な症状を生じることがあります。また、小さな磁石のおもちゃは、2個以上飲み込むとそれらが腸を挟んでくっつき、腸を傷つけてしまうことがあります。事故防止のためには、保管場所に注意するとともに、子どもの周りにいる人達全員で注意して危険を回避しましょう。



## 遊び方にも注意が必要です

事故は小さな子どもに限りません。おもちゃの銃で遊んでいた中学生が、友人の目に重傷を負わせてしまったという事例もあります。年齢を問わず、子どもに遊ばせる前に、取扱説明書や注意書きを大人がよく読み理解した上で、遊び方や注意点などを教えましょう。

## 広告



### こんな仕事をお待ちしています

- ◎植木・除草 ◎襖・クロス
- ◎大工・塗装◎毛筆あて名書き
- ◎マンション・事務所等清掃
- ◎家事・育児援助サービス
- ◎洋服のお直し・オーダー 他

◆ お気軽にお問合わせください。

公益社団法人

板橋区 シルバー人材センター

〒173-0004 板橋区板橋 2-65-6

板橋区情報処理センター2階

☎ 3964-0871

商品の購入や契約など消費生活にかかわる相談を無料で受け付けています。

## 板橋区消費者センター

tel : 03-3962-3511 (相談専用)

〈受付時間〉月曜～金曜 9:00～16:30 (祝日・年末年始を除く)

土・日・祝日はこちらへ

## 消費者ホットライン

いやや!

tel : (局番なし) 188

以下の窓口へおつなぎします。(年末年始を除く)

土曜 9:00～17:00 東京都消費生活総合センター(直通あり 03-3235-1155)

土・日・祝日 10:00～16:00 国民生活センター

音声ガイダンスに沿って電話機を操作してください。  
一部のIP電話、プリペイド式携帯電話からはご利用できません。

## 板橋区消費者センター

tel : 03-3579-2266

〒173-0004

板橋区板橋2-65-6

板橋区情報処理センター7階

Fax : 03-3962-3955

ホームページ

<http://www.city.itabashi.tokyo.jp>

記事に関するご意見ご要望をお聞かせください。

